

# セアカゴケグモ 素手でつかまない! さわらない!

セアカゴケグモが大阪府各市で発見されています。このクモは毒をもっていますが、突かれると驚いて死んだふりをするなど、比較のおとなしいクモで、むやみに人に危害を加えることはありません。

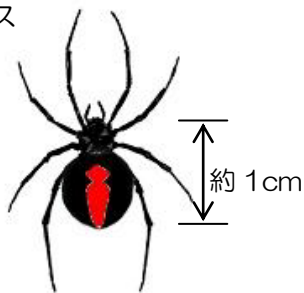
## 1. 生息しやすい場所は?

セアカゴケグモが実際に生息している所は物陰ですが、周囲は日当たりが良く、乾燥しているところを好みます。主な生息場所は、排水溝のふたの裏、ブロックや石垣の隙間、よう壁の水抜管等です。樹木や草むらには、ほとんど生息しません。

## 2. 被害を防ぐには?

巣を張っている所に手を持って行かない限りかまれることはありませんが、自転車のサドルやプランターの持ち手部分等にも生息する場合がありますので、注意が必要です。また、軍手などの手袋をすることで被害を防ぐことができます。特に子供には絶対に素手でさわったりしないよう注意を呼びかけて下さい。

メス



全体的に黒く、丸い腹部の背面と腹面の中央には赤色の模様が目立ちます。

オス



腹部が細く、背面は黒色が褐色。腹部の腹面にのみ赤い模様があります。交尾後、メスに食べられてしまうことが多いため、通常はほとんど見られません。

## 3. 駆除方法は?

クモ自体は一般家庭用エアゾール殺虫剤（ピレスロイド系）で簡単に駆除できますが、卵のうは薬剤効果が期待できませんので踏みつぶすようにして下さい。また、セアカゴケグモは自動車や自転車、様々な運搬資材等に付着し、広範囲にわたって移動しますので、完全な駆除は難しく、施設内の定期点検が不可欠となります。

## 4. かまれたときの症状は?

チクリと針で刺したような痛みを感じ、かまれた部分の周りが腫れて赤くなります。悪化すると、痛みはしだいに全身に広がり、多量の汗をかいたり、さむけ、吐き気などがあらわれることもあります。

## 5. かまれたときの処置は?

かまれた箇所を流水やアイスパック等で冷やします。また、かまれてから時間が経過し、痛みが増している場合は、お湯で絞った布、タオル等をあてると痛みが緩和します。多少出血があっても包帯や止血帯はしないほうがよいでしょう。できるだけ早く医療機関に行って治療を受けることが大切です。かまれたクモを持参すると適切な治療につながります。

卵のう

約200個の卵が入った球形の袋で、直径約0.5~0.8cm。色は乳白色又は黄褐色です。卵の数の約1割が生残ると言われています。